

みんなで使おう 環境にやさしい“LOVEいぶすき”

LOVEいぶすきとは

LOVEいぶすきとは、愛媛県で開発された環境浄化を促す微生物活性酵素「えひめAI」のことで、指宿市では「LOVEいぶすき」という名前で普及活動を行っています。微生物の栄養ドリンクとして食物連鎖を活発にし、水質浄化や悪臭対策などに効果があることが世界各地で確認されています。

材料は、食材である納豆、ヨーグルト、イースト、砂糖、温水。混ぜ合わせて1日置くだけで完成。すべて食材だから安全で、しかも簡単に作ることができます。

地域全体で継続して使えば、悪臭除去、水質浄化など地域の環境を改善することができます。

LOVEいぶすきにはこんな使い方・効果があります！

「汚れ落とし」

◎10倍程度に水で薄めたものをスプレー

- ・流し台にスプレーすると、ヌメリや油污れが落ちます。
- ・トイレ使用後にスプレーすると、尿石などの汚れを酵素が徐々に分解します。



◎原液を入れる、浸け置き（コップ半分程度）

- ・お風呂に入れると、酵素入りの弱酸性風呂になります。体の垢も良く落ち、浴槽の掃除も湯垢が落ちやすくなります。
- ・洗濯槽に入れて洗うと洗浄力がアップします。洗剤の使用量を減らすこともできます。汚れがひどいものは浸け置き洗いすることで汚れが落ちます。
- ・洗濯槽の隙間や裏側にこびりついた洗剤の残りかすやカビ汚れなども酵素の力で落とします。
- ・メガネや鏡は、液を染み込ませた布等で拭くと油膜が取れます。



◎その他の場所では

- ・原液や希釈液が住宅用の洗剤がわりになります。ガラスや壁の汚れ落とし、床・畳などの拭き掃除に効果があります。
- ・色々なところで使用することで、排水管内のヌメリがなくなります。

「消臭」

◎10倍程度に水で薄めたものをスプレー

- ・台所の流しや生ごみ、トイレ、コンポストなどにスプレーすると嫌なにおいがなくなります。
- ・ペットにスプレーするとにおいが消えます。



◎原液を入れる、浸け置き

- ・洗濯するときに、コップ半分程度（100ml）入れると、柔道着などの汗くさいにおいがなくなります。また、堆肥などのにおいがついた作業着のにおいもしなくなります。

他にも、こんな効果が・・・

- ・花瓶に少し入れると花の持ちが良くなります。
- ・磯焼け（藻場の消失）が改善されます。

などなど・・・

自分で試しているいろんな使い方を発見しましょう。

洗浄力の秘密

市販の洗剤なども酵素の力で洗浄していますが、納豆菌と同じ種類の酵素で作られているのでLOVEいぶすきの効果は抜群です。

継続して使用することで効果が表れます。

効果を確認するためには、楽しみながら長続きさせることが大切です。

問い合わせ先

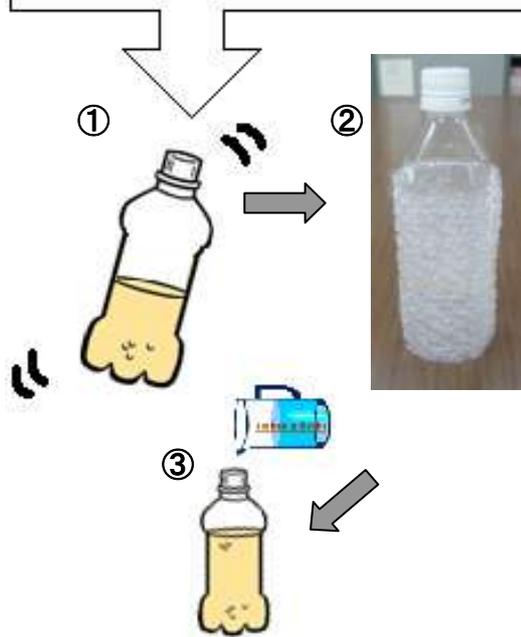
指宿市役所環境政策課環境政策係
TEL：22-2111（内線242）

LOVEいぶすきが進化した マイエンザ MAIENZAの作り方(2ℓ用)

【材 料】



- ①納豆 1粒 (ヌリだけでも良い) ②ドライイースト 10g ③ヨーグルト 100g ④砂糖 60g (三温糖など) ⑤温水 1ℓ (42℃程度)



【手 順】

- ① ①～⑤の材料を、じょうごなどを使ってペットボトルに入れ、よく振って混ぜる。発酵すると泡が出て吹きこぼれるので、水量はペットボトルの半分に。
- ② ペットボトルにプチプチシート（緩衝材）などを被せて、1日程度保温する。
- ③ 24時間後、酸っぱくなっていれば大丈夫。（このときpHはだいたい3～4となる）最後に、水を足して2ℓにすれば完成。

作るときの注意点

- 雑菌が混入しないようにする。
- 発酵したガスで、ペットボトルが爆発する危険性があるため、培養するときは、ペットボトルのキャップはゆるめておく。
- 培養中は、ペットボトルを絶対に振らないこと（菌がうまく培養されません）。

【基本的な使用方法と注意点】

- ・汚れがひどいものには、原液を使用 → 原液は3ヶ月を目途に使い切る
- ・少しの汚れや消臭用は5倍～10倍に薄めたものを使用 → 薄めたものは1ヶ月以内に使い切る
- ・使い切れなかったものは排水口や畑・庭などに流す

※注意点

- ・川や、特に湖沼などに直接、大量に流さないでください。富栄養化が進み、逆に河川・海域の汚濁の原因となる可能性があります。家庭で少しずつ使って、食物連鎖による浄化の手助けをしましょう。
- ・上澄み液とオリ（沈殿物）に分離させ、上澄み液は冷暗所に、オリは冷蔵庫にと別々に保管すれば1年程度保存が可能です。

こちらもおすすめ

LOVEいぶすき（えひめA1）2ℓの作り方

【材 料】納豆1粒、ドライイースト8g、ヨーグルト100g、砂糖100g、温水1.6ℓ

【作り方】熱帯魚用ヒーターなどで加温して、35度程度で1週間培養する。夏場は直射日光の下でも大丈夫。作るときの注意点や使用方法などは上記と同じです。